

本リリースは、文部科学記者会、科学記者会、茨城県政記者クラブ、筑波研究学園都市記者会、日本外国特派員協会に配布しております。

国際生物学オリンピック 2009 組織委員会 プレスリリース

平成 21 年 7 月 18 日

「第 20 回国際生物学オリンピック」成績を発表

～ おおつき りょうた
大月 亮太 さん（千葉県立船橋高等学校 3 年）が日本初の金メダルを受賞 ～

国際生物学オリンピック 2009 組織委員会（委員長：井村 裕夫・京都大学名誉教授）は、茨城県つくば市で 7 月 12 日（日）から 19 日（日）8 日間にわたり開催した第 20 回国際生物学オリンピック（IBO2009 つくば）の成績を発表しました。

今回の大会には 56 カ国・地域から 221 名の生徒が参加し、高いレベルの生物学に関する実験課題試験と理論課題試験（筆記試験）の総合成績を判定した結果、23 名に金メダル、46 名に銀メダル、68 名に銅メダルが授与されました。

国際生物学オリンピックへの参加が 5 回目となる日本代表は、^{おおつき りょうた}大月 亮太 さん（千葉県立船橋高等学校 3 年）が、日本初となる金メダルを受賞しました（金メダル 1 名、銀メダル 3 名）。また、参加した代表生徒全員のメダル受賞も 3 年連続となりました。

国際生物学オリンピック 2009 組織委員会 井村 裕夫は大会の総評を次のように述べています。「過去最高となる世界 56 の国と地域から 221 名の生物学の英才が一堂に集い、知識や技能の研鑽だけでなく、友情も育み、素晴らしい成果を挙げたことに大きな喜びを感じています。生命科学の重要性が叫ばれる今、代表生徒全員がこの大会を通じて成長していく様子を目の当たりにし、未来の生命科学を支える人材が輩出されるという確信を持つようになりました。この代表生徒の活躍に触発され、今後、さらに多く生徒が生物学に関心を持ち、情熱を持って挑戦してくれることを大いに期待します」

国際生物学オリンピックについて

国際生物学オリンピックは、世界の高校生を対象に生物学分野への関心を高め、参加者の才能を伸ばし、生物学に関わる将来の科学者を育てるとともに、各国の生物学教育の情報交換を目的にしています。21 回目となる来年の大会は韓国・昌原（チャンウォン）で 7 月 11 日～18 日に開催される予定です。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
国際生物学オリンピック 2009 組織委員会事務局
担当：棚橋 電話 03-3212-8487
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号 科学技術館内